

## 9:30~10:30 『人の生活環境や文化と寄生虫症』

医学系研究科附属医学教育研究支援センター実験動物部門 准教授 大野民生 氏

寄生虫はウイルスや細菌等とともに人に感染症を引き起こす病原体として忌み嫌われる存在である。幸い日本国内では人体寄生虫にお目にかかることは希になったが、この様な国は大変珍しく寄生虫は依然として世界中でヒトの生活に脅威を与え続けている。

寄生虫が他の病原体と大きく異なる点は、その大半が生涯で複数の生物種を定められた順番に形態を変化させながら渡り歩く事であり、寄生虫学ではその生涯を「生活環」という。それぞれの寄生虫が独自の生活環を有する事は、寄生虫が周囲の環境と複雑な関係性を保ちながら生存している事を示している。

今回は時間の許す範囲で複数の人体寄生虫をオムニバス形式で取り上げて、その生活環と人の病態を説明しながら、人と寄生虫と関わりに焦点を当てて紹介してみたい。今回の私の話をきっかけに少しでも寄生虫に関心を持っていただければ幸いである。